



KUMAMOTO GREEN The Weekly Bulletin Rotary-Club



2015-
2016年度
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

R.I. 会長 K.R. "ラビ"ラビンドラン

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、
そして自己の成長へつなげよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2015年8月24日】

第1186回
2015-2016年度 第6回
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」
(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

- ・RI第2720地区ガバナー
野田 三郎 氏
- ・RI第2720地区ガバナー副幹事
丸山 浩之 氏
- ・熊本第3グループガバナー補佐
倉田 榮喜 氏



友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

今日は、待ちになった野田ガバナー公式訪問の日となりました。宜しく御指導下さいませ。

さて、今年度のラビンドランRI会長はスリランカの御出身です。スリランカといえは第二次世界大戦を終結して、サンフランシスコ対日講和会議(1951年)が行われ、スリランカ(当時はセイロン)は、日本に対する損害賠償請求権を自ら放棄しました。セイロン代表のJ. R. ジャヤワルダナ(後に大

統領となる)は、その理由として、先週の例会でふれた仏典「ダンマパダ」の第5偈「実にこの世において、恨みに報いるに、怨みを以てしたならば、ついに怨みの息むことがない、怨みをすてることによってこそ息む、これは永遠の真理である」を引用しました。我々日本人にとっては忘れられない出来事です。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

①「第7回 熊本中央RCチャリティーゴルフコンペ」のご案内

日時：平成27年10月23日(金) 午前7時45分
「例会並びに開会式」
午前7時45分「例会並びに開会式」/午前8時3分「スタート」
場所：グランドチャンピオンゴルフクラブ
参加費：12,000円(内訳：プレー代9,000円(昼食、1ドリンク付)+参加費3,000円)
ルール：ダブルペリア方式

※ロータリーの親睦、社会奉仕、広報というチャリティーゴルフの主旨をご理解頂き、是非とも1クラブ 1組以上のご参加をお願い致します。又、ロータリアン以外の方の参加も歓迎致します。

卓話
予定

- 8/31 「会員増強 クラブ・フォーラム」河島一夫 会員増強委員長
- 9/7 「熊本グリーンローターアクトクラブ活動方針」
★熊本グリーンローターアクトクラブとの合同例会
- 9/14 支援事業報告
「第13回スーパープリント・アクアスロン大会」報告
- 9/21 祝日休会(敬老の日の為)

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本水前寺公園RC】

①9月9日(水)の例会は、試験的に夜の例会を行う目的で、同日18:30に変更し、メルパーク熊本にて行います。

②9月30日(水)の例会は、試験的に夜の例会を行う目的で、同日18:30に変更し、メルパーク熊本にて行います。

【熊本'05福祉RC】

8月25日(火)の例会は、創立10周年記念式典のため、8月22日(土)15:00に、ホテルキャッスルにて行います。

<例会取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、例会を取りやめます。

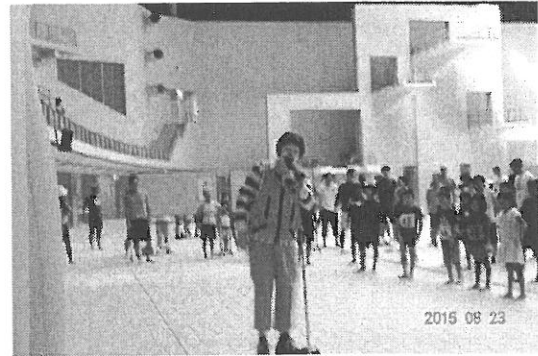
【熊本中央RC】 9月18日(金)

下記の例会は、台風の接近に伴い、取止めます。

【熊本西RC】 8月25日(火)



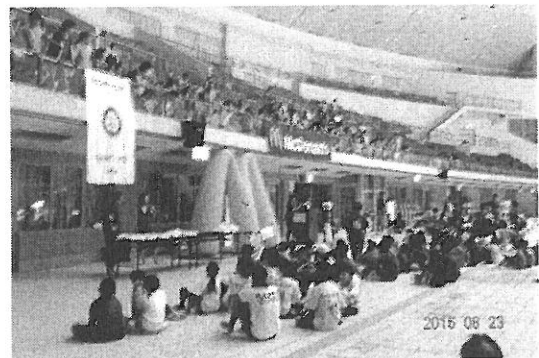
開会式の様子



ドナルド君からも挨拶



選手宣誓



熊本グリーンRCとマクドナルドの共催で行われました

出席報告

(葉 高源 会員)

	会員総数	22名	出席率
8月24日	出席免除会員数	1名	76.19%%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	16名	
8月10日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

「第13回スーパースプリント・アクアスロン熊本大会」開催報告

報告者：奉仕プロジェクト委員 田中純司 会員
 昨日8月23日(日)にアクアドーム熊本にて開催されました。我がクラブより大友会長、荒木幹事、仙波会員、田中会員が参加されました。大会の様子は週報に写真を掲載しますのでご覧下さい。又、大会の詳細な報告は、9月14日の例会にて、先週来訪されました、熊本市トライアスロン協会の役員の方々より卓話の時間を使って報告して頂きます。



もうすぐゴール、頑張って



応援に出ていた大友会長と仙波会員



表彰式の様子

スマイル

(松村 秀逸クラブ管理運営委員(スマイル担当長))

●野田三郎ガバナー、倉田榮喜ガバナー補佐、丸山地区副幹事

「本日のガバナー公式訪問お世話になります。」

●大友 利行 君

「野田ガバナー公式訪問お待ちして居りました。倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事も今夜は宜しく御指導下さいませ。」

●荒木 一之 君

「野田ガバナー、倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事ご来訪に感謝しスマイルします。」

●田中 純司 君

①「野田ガバナー、倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事様ようこそいらっしゃいました。本日は公式訪問よろしくお願いします。」 ②「昨日は「第13回スーパースプリント・アクアスロン大会」の応援の皆様、朝早くからご苦勞様でした。」

●福島 和見 君

「野田三郎ガバナー、倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事のご来訪、心より歓迎し、そして感謝の意を込めてスマイル致します。私は今年6月から会員になり、わからないことだらけで出席しておりますが、8月の「会員増強・新クラブ結成推進月間」にあたってのガバナーメッセージに野田ガバナーが記しておられる様に新入会員として新しい価値観の提供が出来る様、頑張っていきたいと思っています。今日は宜しくお願い致します。」

●本田 悟士 君

「野田ガバナー、倉田ガバナー補佐のご来訪にスマイルします。」

●河野 景治 君

「野田三郎ガバナーのご来訪に感謝のスマイルを申し上げます。本日はご多忙の中、誠にありがとうございます。宜しくお願い致します。」

●葉 高源 君、河島 一夫君、栗山 義則 君、長野 義文 君

「野田三郎ガバナー、倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事の御三方の御来訪に感謝申し上げてスマイル致します。本日は宜しくお願い致します。」

●松村 秀逸 君、十時義七郎 会員

①「明日の台風が心配です。被害が出ない様に祈っています。」

②「本日は野田ガバナー、倉田ガバナー補佐、丸山地区副幹事、公式訪問よろしくお願いします。心より歓迎しスマイル致します。」

3. 例会プログラム



RI第2720地区ガバナー 野田 三郎 氏
ガバナーアドレス



RIテーマとRI会長方針

- ・2015-16年度RI会長テーマ「Be a gift to the World.」＝日本語訳は「世界へのプレゼントになろう」
- ・つまり、ロータリー活動を通じて、自分ができる奉仕活動を提供しよう

- ・自分がこれまでに授かった才能や努力して得たものを、世界の人に還元しよう
- ・世界に対して、プレゼントができる人になろう
- ・2015-16年度RI K. R. ラビンドラン会長方針
- ・ロータリーは、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれます
- ・ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます
- ・私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断さるのです
- ・社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう

2015-16年度RI 2720地区「スローガンとガバナー方針」

RI 2720ガバナー野田三郎

- * スローガン「ロータリー活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- ・各RC 内、地区内(2,400名)、国内(88,000名)、海外との連携(1,220,000名)とのネットワークも含め、人との出会い、関わり合いを通して、新たな気づき、その気づきで活動することで、自己の成長へ繋げよう～そして「なりたい自分へ」近づこう
- ・あなたが変われば、周りの人が変わる
- ・あなたの意識が変われば、行動が変わり、出てくる結果も変わってくる
- ・より良い人生を送るためにも.....

[ガバナー方針]

① ロータリーの哲学であるObject of Rotary の浸透を図る

- ・Object of Rotary の解説（ロータリーの中核的価値観＝高潔性、リーダーシップ、多様性、奉仕、親睦）
- ・「ロータリーと私の人生観」の講演（Object of Rotary、奉仕の理想）
- ・ロータリーは奉仕の理想を志を持った人の集まりである（奉仕の理想の歌詞に「奉仕の理想に集いし友よ」）
- ・会員維持、増強の対策として、IM、セミナー、ガバナー公式訪問、奉仕活動等にロータリーへの入会希望者も参加可としたい

② 奉仕活動に参加することで、知り合いを広める機会をつくる

- ・クラブへの支援として、各RC奉仕活動への参加
- ・クラブ内の入会歴の古い会員と新しい会員との融和を図り、ロータリアン同士の世代間の繋がり密にしよう
- ・地区内ロータリアンとの多くの出会いを通して、お互いの連携を図り、新たな気づきをもとう
- ・各RCの奉仕活動の実施予定日を早目に広報し、他クラブの奉仕活動への参加を推奨していく（プラス1件/前年度比）

③ RI 2720地区の将来ビジョンを描く

- ・地区の歴史を振り返り、10年先の地区の目指す姿を描く（担当委員会との協力）
- ・地区として、活動すべき奉仕活動を充填していく（R財団のグローバル補助金を活用した奉仕活動、青少年交換事業等々、そのための地区体制づくりやノウハウの構築、.....）
- ・地区内2,400名の会員の協力を得ていく

④ 次の世代を担う青少年奉仕活動に注力していきたい

- ・青少年に対して、ロータリーの中核的価値観（基本的な考え方）を基に、人生哲学や人生観のテーマで講演等々を行い、世代間の繋がりをつくっていきたい
- ・青少年奉仕活動であるRA、IA、RYLA、青少年交換、米山奨学生等々の活動の充実を図る

⑤ 2015-16年度の新たな事業への取組み

- ・台湾地区との姉妹締結 (RI3480 地区)
- ・IA 海外研修事業 (RI3480 地区 8 月初旬に予定)



私の「ロータリーに対する考え方」

ガバナー野田三郎

1. Object of Rotary についての考察

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster;

FIRST. The development of acquaintance as an opportunity for service;

SECOND. High ethical standards in business and professions, the recognition of the worthiness of all useful occupations, and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to service society;

THIRD. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

FOURTH. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

ロータリーの綱領(目的) 日本語訳

有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項目を鼓吹、育成することにある

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること
2. 自己の事業と専門職務の道徳的水準を高めること(要約)
3. 個人生活、事業生活及び社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること
4. 国際間の理解と親善と平和を推進すること(要約)

* The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

・この部分は、全てのロータリアンが、家庭生活、職場生活、社会生活において、奉仕の理想を適用すると解釈します

・人生は、日々の家庭生活と職場生活と社会生活の積み重ねで成り立っています

・家庭生活、職場生活、社会生活は、時代の変動や社会ニーズの変動によって、また年数を経ることで変化していくものです

・その変化するそれぞれの生活の分野で対応していくため、常に自分自身が意識を高め、成長することで、自分を取り巻く多くの人の中から、一人でも多くの人からの信頼を得られるように努めることが大切です

・つまり、自分自身の意識を高め、自分が成長していく事を通して、家庭生活、職場生活、社会生活の中で、自分の周りの人から、一人でも多くの信頼を得ていく事が奉仕の理想と解釈します

2. 私の「ロータリーに対する考え方」は、

・ロータリーとは、奉仕の理想を志を持った人の集まりである

・奉仕の理想とは、家庭生活、職場生活、社会生活において、自分を取り巻く人の中から、一人でも多くの人からの信頼を得るように努めることです

・信頼とは、自分の意識を高め、自己の成長に努めることで得られるものです

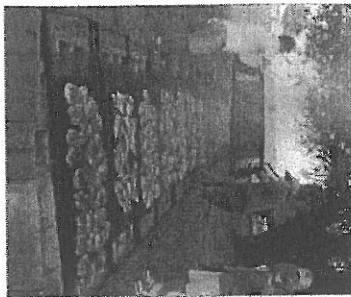
・自分自身が周りの人から一人でも多くの信頼を得ることで、自分自身の存在価値も高くなり、自分の人生がより充実してくるものです

[私からのお願い]

・ロータリアンの意識を高めるには、各クラブ内においてロータリーの哲学を理解されている入会歴の古い年配会員から、入会歴の新しい若手会員に対して、これまでにロータリー活動を通して得たものや人生哲学や人生観を伝えていってもらいたい。



「看板イベント」で クラブをアピール



焼鳥食べ放題イベントを実施するボーツマス(米国バージニア州)のロータリークラブ会員。

米国バージニア州、チャーチランド・ボーツマス・ロータリークラブは、これまで33年間に、毎年地元で恒例のバーベキュー交流イベントを開催しています。ライブ音楽も交えたこのイベントは、焼鳥の食べ放題が地元の人たちに好評です。

会員ビル・ポラードさんによると、このイベントには数千人が来場し、地元の奉仕活動やプログラムのために各クラブ15,000ドルほどの純益があ

るそうです。「ボーツマス市民で「ロータリーバーベキュー」を知らない人はいません」とポラードさん。「このイベントは、これまで長年にわたって2つのクラブが協力して行ってきたものです。地元でロータリーを紹介する絶好の方法でもあります」

世界各地の多くのロータリークラブは、それぞれの地元で独自のプロジェクトやイベントを企画し、地域の人びととの交流を図っています。ポリオ撲滅のための募金イベントや公園の清掃事業など、クラブ恒例の「看板イベント」を通じて、活動的な団体としてのイメージづくりができるのは大きなメリットの1つです。

ベルーの首都リマでは、毎4455地区の看板イベントである「Happiness Carnaval」が行われています。このイベントは、市内の貸しい人や高齢者ら約350人がバスに乗って貸切りの施設を訪れ、そこでマニキュアや化粧のお色直し、医療、食事、劇団など、賑やかな日を体験してもらおうというものです。地区のロータリー会員とロータリーアクトクラブに同伴します。

当初は高齢者50人を対象に始めたイベントでしたが、リマ市のリーダーたちから高い評価を得たことから、今では参加者の人選にこれらのリーダーもかかわっています。

小さな活動は一般の人に知られる可能性が低い一方で、このような大きなプロジェクトはクラブの「看板」としての役割も果たします。

イベントや活動の実施にあたっては、以下のステップを踏むことをお勧めします。



企画する：イベントの内容と目的を明確にする(例：ロータリー財団への募金、地元地域の人のひとの協力と交流、など)。



広報する：イベント名にクラブ名や地区番号を含める(オンラインソースセンターからダウンロードできるビジュアルアイデンティティのガイドを参照のこと)。ソーシャルメディアとプレスリリースを活用してイ

イベントの広報やロータリーへの理解向上を図る。



交流する：イベント中にクラブに関する問い合わせに対応する係を決めるなど、訪れた一般の人びとと直接に交流を図る。「ロータリーとは」のカード、推進用パンフレット、クラブのホームページアドレスが印刷された名刺などを配る(広報のマイデアや推進用資料は、オンラインソースセンターとshoprotary.orgをご参照ください)。



繰り返す：毎年の恒例行事とすることにより認知度を高める。認知度が高まれば徐々に参加者が増え、クラブ入会への関心も高まる。

ROTARY LEADER

2015年7月
第6巻、第1号

ロータリークラブと地区の役員向けの電子出版物、「Rotary Leader」は、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語で発行されます。

発行者：
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698
USA

ウェブサイト
www.rotary.org/ja
ウェブサイト
1-847-866-9732
電話
1-847-866-3000

受信のお申込み
「Rotary Leader」の受信は、
www.rotary.org/myrotary/
ja/newslettersからお申し込み
いただけます。受信料は無料です。

著作権
©2015年国際ロータリー
カレンダー・クラブ・イン
itiativeプロジェクト
(Naam Project)

投稿

「Rotary Leader」では、記事として掲載できるクラブと地区の活動(募金、広報、奉仕プロジェクト、会員増強など)の話題を求めています。原稿、写真、連絡先等は、Eメールrotaryleader@rotary.orgまで送信ください。多くの原稿が寄せられるため、すべてを掲載することはできませんのでご了承ください。

編集主任
Arnold Grant
クラブウェブサイトライナー
Megan Moulden

執筆
Daniela Garcia
Maureen Vaught
写真
Alyce Hanson
Monika Lozniska
コピーライター
Heather Antu
Beth Duncan
Carol Rosenhail
校正
Kelly Doherty
翻訳
国際ロータリー日本語票

